

瑞宝双光章

熊谷信行さんが受賞

向が丘西1丁目の熊谷信行さん（65歳）が瑞宝双光章〈消防功労〉を受章されました。

熊谷さんは、昭和46年の日高東部消防組合発足と同時に浦河消防署に勤務。平成21年に同組合の消防長に就任し、平成25年に定年退職されました。

6月28日に役場で勲記と勲章が松浦英則日高振興局長から伝達され、松田副町長や富田消防長ら消防職員が同席し、受賞を祝いました。

熊谷さんは「受賞は署員や地域のみなさんの協力、家族のおかげ」と感謝を述べられていました。



永年自治会長表彰

奥山英紀さんに感謝状贈呈

まちづくりに対する住民参加の広聴機会と情報公開の場とすることを目的に毎年開催している自治会長会議が7月2日、浦河町総合文化会館で開かれ、自治会長ら32人が出席し、今年度の主要施策の説明を行いました。

永年にわたり地域で尽力された方を表彰する「永年自治会長表彰」では、平成19年8月から現在まで10年間、大通4丁目自治会長を務めている奥山英紀さん（74歳）に感謝状と町の特産物を詰めた記念品を贈呈しました。



祝

友好交流都市の熊本県天草市

「天草の崎津集落」が世界文化遺産に

友好交流都市の熊本県天草市の「天草の崎津集落」を含む「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が6月30日、世界文化遺産に登録されることが決まりました。

長崎・天草地方は、江戸幕府の禁教令により宣教師やキリシタンに対する弾圧が激しくなる中、ひそかにキリシト教由来の信仰を続け、明治時代にキリシト教が解禁されるまでの間、日本独特のキリスト教信仰を育んだ歴史を象徴する集落や史跡が数多く残っています。こうした日本独特のキリスト教信仰を育んだ集落や史跡は、世界中に類を見ない資産であると評価さ

れ、世界文化遺産への登録が決定しました。

10年以上前から世界文化遺産登録に向けて運動を続けてきた天草市に、町では役場外壁に掲げる懸垂幕のほか、祝電と祝花を贈り、池田町長から中村五木天草市長へ直接電話で祝意を表しました。

